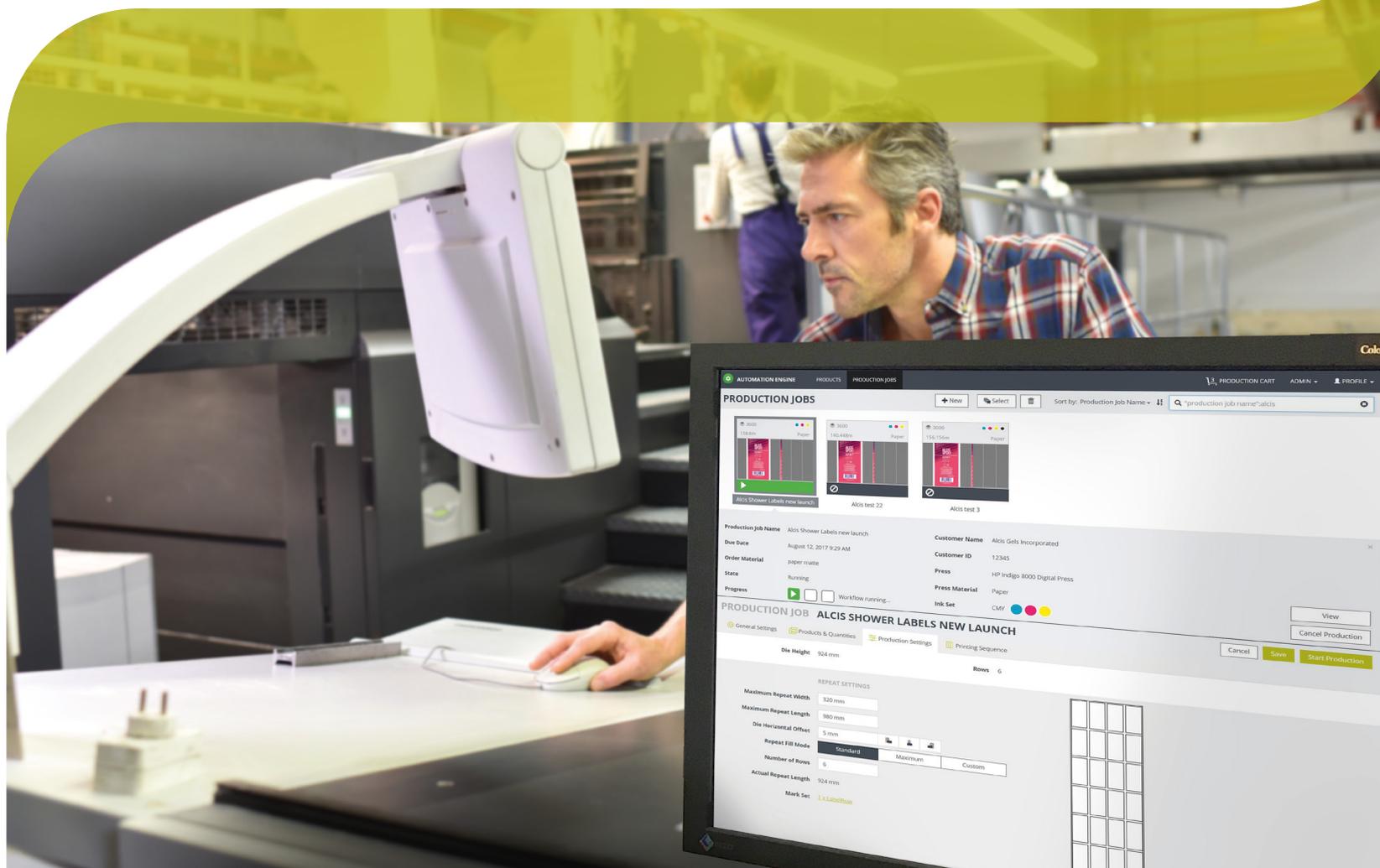


製作ワークフローの全体 最適化と管理



Automation Engine

Automation Engine は Esko のワークフローサーバーで、印刷物製作の自動化と業務システムとの連携で工程のスピードアップを図るだけでなく、オペレーターが介入する必要性を減らし、ミスの発生を防ぎます。



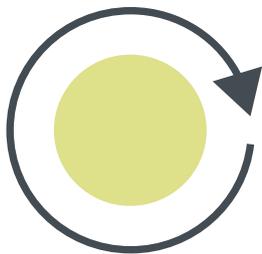
プリプレス作業の中核

Automation Engine は、効率と処理能力を向上させることにより、時間とコストの効率化を図ります。様々な業界標準に準拠することによって、品質の向上、ミスや工程コストの削減といったプリプレスや印刷のプロが日ごろ抱えている課題に対し、優れた解決策を提供します。

Automation Engine は、あらゆる規模のプリプレス作業において中心的な役割を果たし、ワークフローの抜きん出た自動化と確実な品質管理を実現します。

広範な業務システムとの連携が可能のため、高い拡張性を誇ります。

分かりやすいユーザーインターフェースになっているため、プリプレスオペレーターや生産管理担当者はワークフローに簡単にアクセスでき、条件設定の適用など、自動化に関する機能を幅広く活用することが可能です。



効率と処理能力を向上

コスト、工数、ミスを減らす

プレメディア業者や印刷業者、印刷物加工業者が1日に行えるジョブを増やし、やり直しをなくすには？
コストを増やさずに多品種小ロット生産に対応するには？

Automation Engine は、ワークフローの管理と合理化により、増加傾向にある小ロットジョブのプリプレス作業に対処します。

1日に完了できる仕事をふやす

Automation Engine には、ワークフローの編集・モニタリングのための仕組みが搭載されており、視覚的・直感的にワークフローを設計できるツールのおかげで、あらゆるワークフローを容易に設定できます。

様々な条件設定が可能な自動化ツールによって、スループットや効率が向上し、オペレーターによる介入を減らすため、ワークフロー内の自動的な判断や工程計画が可能になります。その結果、今までよりも多くの仕事を完了させることができます。

納期の厳守

出力デバイスでの様々な作業情報が、Automation Engine に自動的に登録されます。Automation Engine Device Manager には、Esko の CDI イメージャーや Kongsberg カッティングテーブルなどの装置との双方向リンクが備わっています。

Device Manager は、業務管理をプリプレス部門で行えるようにします。フレキソ製版やデジタルフィニッシング作業は、プリプレス作業とスムーズに連携するようになります。オペレーターは Device Manager を使用してジョブの進捗状況を確認し、接続されている装置の実行待ちジョブを管理したり、優先順位を付けます。

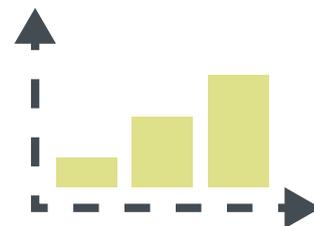
Device Manager は、スマート推定機能や装置への作業配分によってハードウェアの能力を最大限に活用できるようにします。

Automation Engine は目視検査システムとの連携で設定時間を排除し、オペレーターのミスを防ぐため、ジョブあたりの所要時間が3-5分短縮されます。

時間とコストを
節約



人数を増やすことなく
ジョブ処理能力が
最大 40% 増加



高度なパッケージング機能： 人員を増やすことなく、より多くのジョブを処理

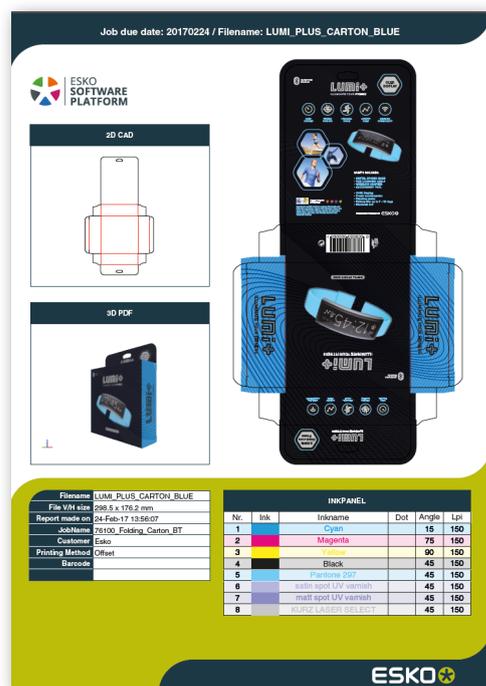
ジョブの体系化とデータ管理

Automation Engine の「ジョブ」は、プロダクションオーダーの作業管理単位となり、ここにジョブデータとそのメタデータ、すなわち、注文ID、納期、顧客情報、担当者の連絡先などの情報がすべて格納されます。ジョブにはバーコード、インク、RIP オプションなどのグラフィック仕様も含めることができます。これらの情報を様々なワークフローに使用することで、既に入力済みのデータを二重に入力してしまうことが避けられます。

3D モックアップ&レポートの自動生成

Reporting & 3D モジュールは、「レポート」(作業帳票)を自動的に生成します。レポートは、データベースから抽出可能な詳細情報(顧客情報、インキ使用量、バーコード仕様など)を使いながら、テンプレートにもとづいて作成されます。

ジョブ内の構造データから 3D PD F形式のレポートを生成することも可能です。画像データと組み合わせることで、完成後のジョブがどのような見た目になるかを統合表示できます。



Job due date: 20170224 / Filename: LUMI_PLUS_CARTON_BLUE

ESKO SOFTWARE PLATFORM

2D CAD

3D PDF

Filename	LUMI_PLUS_CARTON_BLUE
Blank size	100 x 170.2 mm
Report made on	24-Feb-17 13:56:07
JobName	P15100_Folding_Carton_BT
Customer	Esiko
Printing Method	Offset
Barcode	

Nr.	Ink	Inkname	Dot	Angle	Lpi
1		Cyan	15		150
2		Magenta	75		150
3		Yellow	90		150
4		Black	45		150
5		Pantone 302	45		150
6		small spot UV varnish	45		150
7		small spot UV varnish	45		150
8		HURF LASER SELECT	45		150

ESKO

カラーマネージメントの一元化

Automation Engine では、カラーマネージメントを一元化できます。

カラー処理を、それ以外のプリプレスワークフロー作業と完全に統合させることが可能です。4 色またはマルチカラーへの変換により、ワークフロー内でのあらゆる印刷(デジタルを含む)のカラーを管理できるため、カラーの安定性、再現性、予測可能性が確保されます。

カラープリフライト

Automation Engine が、ブランドカラーの期待に応えながらジョブを最も効率的に印刷する方法を提示します。印刷時間(およびクリック数)を減らしながら、最も効果的なインキセットでの印刷が可能となります。



ワークフローからあらゆる(デジタル)印刷の**色を管理して**最大限の色安定性、再現性、予測可能性を実現

自動面付け、多面付け、ネスティング

Automation Engine の特長のひとつは、ステップ & リピートやギャングランなどの自動面付け機能です。

「ページ制作」の環境で利用できる高度なジョブ管理の機能により、ページ、校正、シート、プレートのステータスと関連付けをしながら、プリプレス部門全体の状況を包括的に確認できます。大判でのシートレイアウトを最適化するために、ギャングランの機能も備えています。カットなどの仕上げ作業を考慮に入れ、さまざまなシートサイズに対して最も効率的なレイアウトを見つけ出します。

ギャングランのジョブは、基材ごとにまとめられ、専用ビューに表示されます。在庫管理システムと連携させれば、基材の最新在庫状況にもとづいてネスティングが最適化されます。

アートワーク作成と可変データ印刷を自動化

Automation Engine はブランドガイドラインに沿ったアートワーク作成プロセスを自動化する初のワークフローサーバーです。アートワークはかつて、製作に時間がかかる作業でしたが、Adobe Suite や Automation Engine との連携で、完全な自動化が実現しました。新たな SKU も、すばやく簡単にミスなく作成できるようになりました。

さまざまなデジタルプリプレスでの可変データ印刷も可能です。

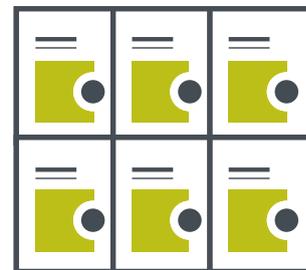


自動フレキシソ製版

自動フレキシソ製版モジュールは、ワークフローを完全に自動化し、手作業による介入を減らしてプレートの無駄を防ぎます。

さらに、Automation Engine Device Manager は、業務管理をプリプレス部門で行えるようにします。オペレーターはジョブの進捗を確認し、接続されている装置の実行待ちジョブを管理したり、優先順位を変更したりできます。

ページ、プルーフ、シート、プレートの**全体的な進捗状況をすぐに把握**



ミスの排除

様々な品質管理機能が搭載されているため、プリプレスオペレーターや管理担当者は、ワークフローの初期段階でミスを発見できます。

独自の Automation Engine Viewer は、一般的なプリプレスフォーマット（イメージ、RIPデータ）を処理します。チェックや品質保証のためのさまざまな機能により、ファイルの印刷準備が整っているかどうかを細かく確認できます。分版、トリムサイズ、メディアサイズをチェックするほか、デザインファイルと制作ファイルを比較したり、修正がすべて反映されているかどうかを簡単に確認することも可能です。

自動チェックツールは、多数のファイルを効率的に処理します。さらに、Global Vision による品質管理機能が品質（文字、アートワーク、スペリング、点字、バーコード）をチェックして、自動的にレポートを作成します。その結果、正確な品質を備えた確実なプリプレスフローが実現します。



ミスを
80% 削減

確実なプリプレスフロー



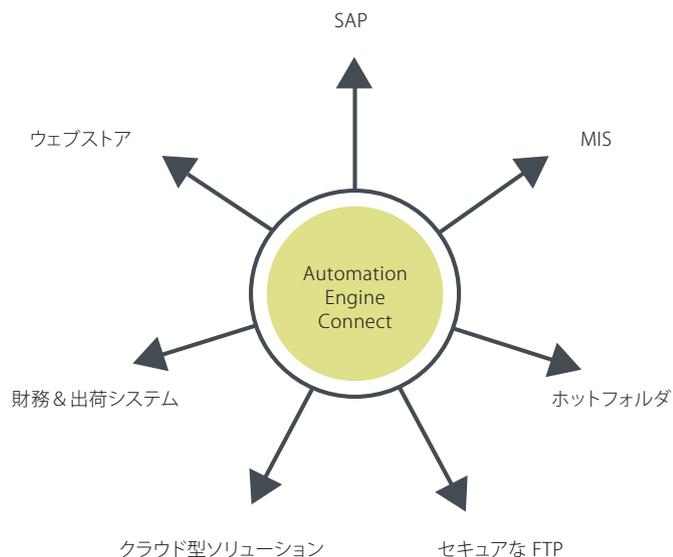
業務システムとの連携

ワークフローの自動化を実現した後に、業務システムとの連携が求められるのは極めて自然なことでしょう。

工程全体を合理化し、ミスの発生を防ぐために、MIS/ERPをプリプレス部門に連携させるのは非常に理にかなっています。Automation Engine は、MIS/ERP に対してデジタルでのフィードバックを即時に提供します。

Automation Engine Connectモジュールは、あらゆるサードパーティ製品と Esko 製品との連携を可能にします。時間がかかる広範なコンサルティングの必要はありません。

カスタム開発の必要もなく、拡張性の高い持続性の高いソリューションです。



Automation Engine QuickStart for Labels

Automation Engine QuickStart for Labelsは、ラベル加工業者様が素早く活用できるソリューションです。ラベル業界向けに実証されたワークフローが予め設定されており、最短で5日以内に製作を始められます。

- トラッピング、殖版などの定型作業を自動化
- プリフライトおよびエラーチェックを搭載
- ミスを抑えて製作時間を短縮
- デジタル化された標準プロセスフロー
- 自動レポート生成
- シームレスな連携でデータを体系化し、従業員の協業を推進
- 印刷機を効率的に稼働
- 収益性の向上

Automation Engine のモジュール

df

Automation Engine Base

条件分岐などの機能を備え、ワークフローを構築する基盤となるフレームワークです。基本的なグラフィック作業（ファイルのインポート、トラッピング、カラー変換、ファイルクリーニングなど）や SmartName の使用が可能です。

Job Management

製作データを効率的・体系的に管理するモジュールです。

Connect

Automation Engine や WebCenter をサードパーティのシステム（MS、ERP、出荷システム、Box、SAP など）と簡単に連携させるモジュールです。

Reporting & 3D

関連製作データをすべて集め、顧客や品質管理用にカスタマイズしたレポートを自動生成するモジュールです。3D ファイルを自動的に作成する機能も付属しています。

Layout

ツールを使用してファイルの多面付け、面付け、ネスティングを行うレイアウトモジュールです。ラベル、紙器、軟包材、段ボール、デジタル、商業印刷、サイネージ、ディスプレイ製作など、あらゆる用途に対応します。

Processor

Enfocus PitStop プリフライトの連携、変数データの拡、PDF での高度な処理作業を行うモジュールです。

Viewing & QA

各種ファイルのコンテンツミスを出力前に検出するモジュールです。ツールを駆使して、点字読み出し、バーコードのスキャン、バージョンの比較など、あらゆるジョブの品質を細部まで管理します。

Color

インキ節約ツールや高度なカラー変換作業など、ブランドカラー管理を一元的に行うモジュールです。

Automated Flexo Platemaking

自動フレキソ製版モジュールは、ワークフローの完全自動化を可能するため、ミスを抑え、手作業による介入を減らしてプレートの無駄を防ぎます。

Inspection

小ロット生産や変数データの印刷時に不可欠なインライン検査装置をすばやく設定するモジュールです。

お問い合わせ
エスコグラフィックス株式会社 マーケティング
[東京本社] 〒135-0064 東京都江東区青海2丁目5番10号テレコムセンタービル西棟6F
TEL.03-5579-6295 FAX.03-5579-6296

www.esko.co.jp

ESKO 